



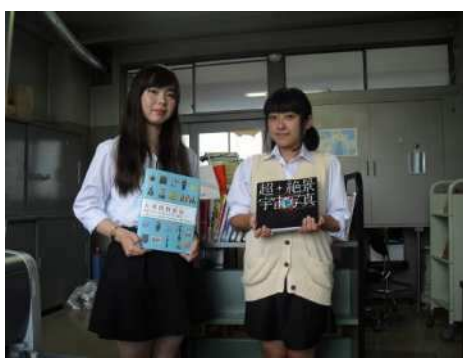
※ “つるみん” 平成26年度第38回鶴嶺祭『ゆるキャラグランプリ』でグランプリを受賞。1年2組小山田夏芽さん、鬼塚麻未さん（旧クラス）の作品で、その思い（願い）は、3つ。・「世界中を飛んで、鶴嶺の名を広めている鶴」・「好きなものは笑顔と思いやり」・「鶴高生と協力して、世界中を笑顔にするのが夢」です。

今月は教育実習生の先生2名に原稿を依頼しました。快く受けて頂き感謝です。本と原稿から人柄が感じられます。目標に一步一步前進している姿は輝いています。司書は感動しました。

図書委員会では、恒例の選書ツアーに行ってきました。新刊本をどうぞ図書館に来て、手に取って見てください。



◆原稿を書してくれた実習生です。



◆丸善ジュンク堂書店へ行きました。



◆七夕を祝い短冊に願いごとを書きました。

今月のおすすめ本 (司書 ver.)

すごい、芥川賞候補です。

又吉 直樹【著】『火花』文藝春秋【出版社】

鶴嶺高校図書館蔵書にあります。貸出中の時もありますが、予約できます。関心・興味がある人は図書館まで申し込みに来てください。7月16日に発表です。

高校時代読んだ本

4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3

② 講談社の『デューク』という本を紹介します。この本とは、高校3年生の受験期で勉強疲れをしていた時、ふらっと図書館に寄った時に出会いました。とても短い本なので、何十回と読みましたが、毎回、不思議で何とも言えない感覚におそわれます。
最愛の犬をなくした主人公が、行動やしぐさ、また好きな食べ物までその愛犬と同じで、生まれ変わりを感ぜさせるような男の子と出会うという物語です。一日が約五十ページという短いページの中にみっちり詰まっています。伏線がこちらこちらに散らばっていて、一度読んだだけでは、「？」と感想を抱くかもしれません。しかし、何度も読むことにより、次々に伏線に気づき、理解が深まってくる。とても読みやすく、短いお話なので是非、手に取って何回も読んでみてください。

① オススメする本は、新潮社の『旅のラゴス』です。とても古い本ですが、不思議な魅力があるストーリーです。この話の世界では文明が隆盛を極め、しかしそれを失った人類が超能力を獲得します。そんな中、超能力はいまいちパットしない、特に優れた能力があるわけでもない主人公が旅をします。旅の途中で、ラゴスは奴隷になったり国王になったり、と様々な経験をするのですが、そんなラゴスの青年期から老年期にかけて、まさにみなさんの『今』から『これから』の人生を覗くことができます。『人生とは旅である』という言葉がよくわかる一冊です。
主人公ラゴスが、なぜこうも波瀾万丈な人生を歩むことになったのか、なぜ彼の周りには人が集まるのか、そういったことを高校生のみんなにみてほしいと思います。

①筒井 康隆【著】『旅のラゴス』新潮社【出版社】明治学院大学 E.M.

②江國 香織【著】『デューク』講談社【出版社】中央大学 T.K.